

今回は、社会連携によるビジネスプラン作成の報告です。

## ◇ 地域の歴史遺産を生かした観光プランの検討を開始しました！

日時： 2021年4月13日（火）16:50～17:50

場所： 関高等学校図書館 多目的室

参加者： 旅行代理店社員（2名） 自治体職員（1名） 関高生（6名）

テーマ：

信長の東美濃攻略戦をテーマとした歴史観光ツアー（夕雲の城ツアー）構想の検討

3月28日（日）の歴史イベント（みのかも定住自立圏主催）で、本校生徒が提案した「夕雲の城ツアー」に関する検討会を実施しました。木曾川下りとバス周遊により、織田信長による東美濃攻略戦の戦跡をたどろうという提案です。高校生のこうした取り組みに関し、自治体からは高い評価を得たばかりか、「実現に向けて一緒に頑張ろう」との前向きなご意見をいただきました。

とはいえ、「ビジネスとして成立し得るのか」「継続できるだけの売り上げ・利益が見込まれるのか」など、専門家のご意見を聴かせていただきたいと考えていたところ、当日、YouTubeライブで歴史イベントを視聴された旅行代理店の方から、「詳しいところまでポイントをおさえてとても面白い企画である」「ツアー商品になるかどうか検討する価値はある」との評価をいただきました。

4月7日、旅行会社からの具体的なコメントをいただき、13日（火）には、旅行代理店、自治体、高校生の3者による初めての検討会議の場を持ちました。

## ◇ 専門家からの指摘を受けて

代理店の方からは、ターゲット層、目的・テーマ、参加人数、予算・実施時期、見学場所の時間配分・経路のあいまいさを指摘され、そのうえで、様々な事例をあげながらのアドバイスをいただきました。

自治体職員の方からは、過去に実施したツアーを例に、地域振興や自治体間連携の観点からのコメント、アドバイスをいただきました。

実際に、あちこちの山城を訪ね歩き、感動を味わった高校生の立場からすれば、山頂から見える素晴らしい光景や、山城に残る各種の遺構（石垣・堀切・堅堀・切岸・曲輪など）をツアー客にぜひともみてほしいと考えます。とはいえ、安全面や体力的な問題を考えると、歴史ツアーのメインターゲットであるシニア層にとっては、参加が難しい内容と言わざるを得ません。そうした問題点をどうやったら解決できるのか。様々な意見、アイデアが出され、議論が盛り上がりました。「夕雲の城ツアー」をテーマに、企業、自治体、そして高校生による検討会議は今後も続ける予定です。

検討会議の様子（上写真、4月13日）

歴史イベントの様子（下写真、3月28日）

